



**ビジョン実現のための  
具体的な取組**

# VISION



最高峰の競技力と  
挑戦し続ける姿勢で  
「世界中の目標となる  
リーグ」へ

1

2ディビジョン制の採用

2

海外リーグとの連携強化

する人・みる人・支える人が  
一つとなって  
「日本中に笑顔が届ける  
リーグ」へ

3

チーム保有企業リソースの  
リーグ還元

4

バスケットボールを通じた人材創出  
(Wリーグアカデミーの定期開催)



# ビジョン実現のための打ち手 ①

## 2デイビジョン制の採用

# 2ディビジョン制

- より公平なレギュレーションにおいて 競技レベルの近いチーム同士による好ゲームが常に繰り広げられる「**質の高いトップリーグ**」へ
- ディビジョンという段階を設定することにより参入への門戸を広げた「**将来に向けての拡大が期待できるトップリーグ**」へ

# ディビジョン分け 実施スケジュール

2023年  
10月

2024年  
4月 10月

2025年  
4月 10月

## 第25回大会 (2023-24シーズン)

- 14チームによる2回戦総当たり
- 上位8チームによるプレーオフ
- 競技成績により次シーズンの所属ディビジョンが決定

## 第26回大会 (2024-25シーズン)

- 2ディビジョン制スタート
- 競技成績により次シーズンの昇降格が決定

※第26回大会への参加は、2023年6月までに理事会の承認を要するため  
事実上第26回大会(2024-25シーズン)の参加チームは現在の14チームとなる

# Wリーグ第26回大会（2024-25シーズン）新レギュレーション

## Wリーグ プレミア (仮称)

### 【レギュラーシーズン】

全8チーム4回戦総当たり（1チーム28試合）

上位4チームがプレーオフ進出

7位チームがフューチャー2位チームとの入替戦

8位チームはフューチャーに自動降格

### 【プレーオフ（中立地開催）】

セミファイナル：レギュラーシーズン1～4位による**2戦先勝方式**

ファイナル：セミファイナル勝利チームによる**3戦先勝方式**（予定）



## Wリーグ フューチャー (仮称)

### 【レギュラーシーズン】

全6チーム5回戦総当たり（1チーム25試合）

1位チームはプレミアに自動昇格

2位チームはプレミア7位チームとの入替戦

### 【入替戦（中立地開催）】

プレミア7位とフューチャー2位による**2戦先勝方式**

勝利チームが翌シーズンのプレミアに参加



# 2ディビジョン制採用の4つの理由



## 2ディビジョン制採用の理由

公平

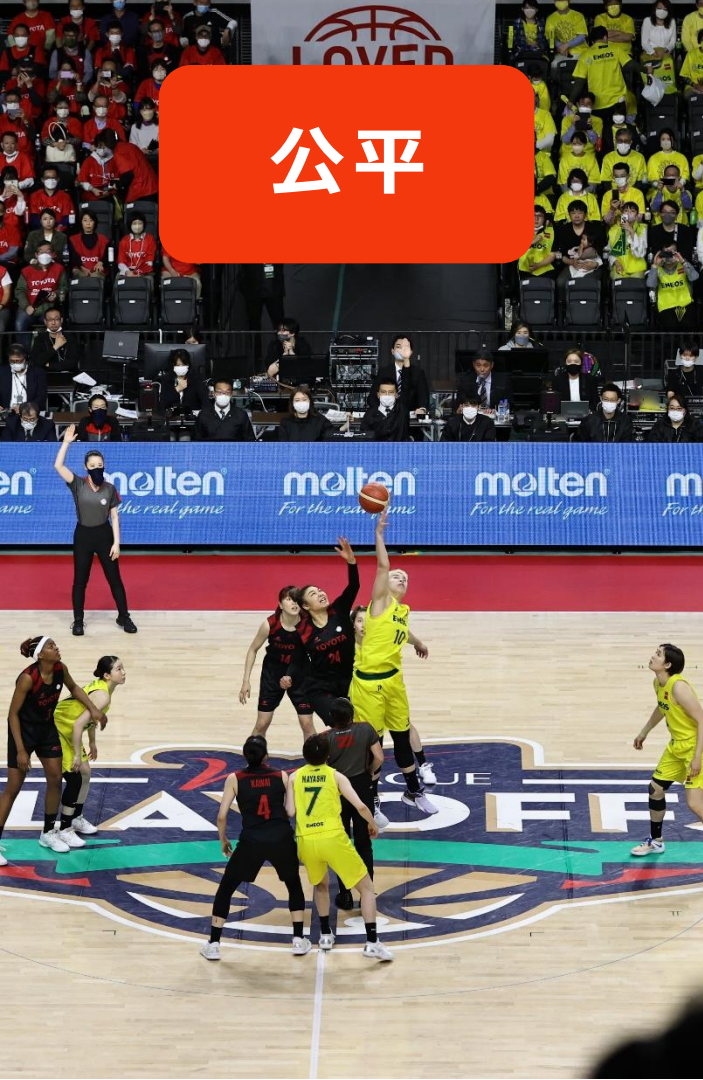
4回戦総当たりによる  
「**同一カード2エリア**」での開催

両チームのホームゲーム開催が可能に

※ホームタウンに限らず日本全国でホームゲームを開催

【これまでの課題】

2回戦総当たりのため、同一カードは1エリアのみで開催  
いずれか一方のみがホームゲームの場合あり  
レギュレーションの公平性に課題。





# 競技力



- 「昇降格」により、勝利の意味合い、1試合当たりの重要度が増加
- 競技レベルの近いチーム同士による接戦の増加による競技力の向上
- 4試合総当たりにより、戦術・戦略面でより高いスキルやチーム力が求められる

## 2ディビジョン制採用の理由

### 戦力均衡



- 実力が拮抗したゲーム数の増加
- 接戦が増えることで、バスケットボール競技本来の魅力が向上
- 消化試合の減少

## 2ディビジョン制採用の理由

拡大



- 1ディビジョンの場合、競技インフラの整備面で新規参入のハードルが高すぎる。
- 下部リーグは経済的負担も減少し、将来的な成長を目指せる場所に。
- 競技者減少を防ぐ受け皿の必要性



ビジョン実現のための打ち手 ②

# 海外リーグとの連携強化

挑戦し続ける姿勢で「世界中の目標となるリーグ」へ

# 韓国女子バスケットボールリーグ（WKBL）との パートナーシップの締結



- ① Park's Cup Summer Leagueへの定期参戦
- ② サマーキャンプ・オータムカップへの参加
- ③ 3x3大会・オールスターにおける交流



Park's Cup Summer League

Wリーグより2チームが参加決定！



- ・ ENEOSサンフラワーズ（第24回Wリーグ優勝）
- ・ トヨタ自動車アンテロップス（第24回Wリーグ準優勝）

開催時期：8月26日～9月3日（予定） 開催地：韓国清州市  
参加チーム：WKBL所属6チーム・Wリーグ2チーム・海外チーム2チーム招聘予定



### 『2023 SHINHAN BANK WKBL 3x3 Triple Jam』

Wリーグよりトヨタ自動車アンテロップスが出場し優勝



開催日：2023年6月24日-25日

開催地：韓国ソウル市内タイムズスクエア

参加チーム：WKBL所属6チーム、韓国ナショナルチーム他

本スキームをベースに他国との連携も積極的にアプローチを行います



ビジョン実現のための打ち手 ③

# チーム企業リソースの リーグ還元

する人・みる人・支える人が一つとなって  
「日本中に笑顔を届けるリーグ」へ

参加企業の多様な知見やリソースをリーグに還元し、様々な取組を実施することで、  
地域と共存・共生し、社員だけでなく社会に「笑顔を届ける」。

企業チームが混在するWリーグだからこそ実現できる社会貢献を進めます。



×

ENEOS



DENSO

CHANSON  
COSMETICS



FUJITSU

トヨタ紡織

日立ハイテク  
HITACHI

AISIN



PRESTIGE INTERNATIONAL



# チーム企業リソースのリーグ還元 先行事例：「センサリールーム」の設置

## 企業のテクノロジーや取組をWリーグの会場で実践



×

FUJITSU



発達障がい等に伴う「感覚過敏の特性」をお持ちのご家族を対象に、安心してバスケットボールを楽しんで頂くための「センサリールーム」を共同設置。

参加するご家族が安心して試合観戦できる環境を提供しました。



ビジョン実現のための打ち手 ④

# バスケットボールを通じた 人材創出

社会で輝く人を育み人生を豊かにする  
「Well-beingなリーグ」へ

競技引退後も続く人生において地域や社会に力強く貢献する女性を育てる目的にて、  
現役時代から社会との接点を作り必要とされるスキルやマインドセットを学ぶ機会として  
「Wリーグアカデミー」を今年度も定期的で開催。



# 「Wリーグアカデミー」昨年度講座実績



- 第1回 FEMCATIONセミナー「女性のカラダの知識講座」 高尾 美穂氏（産婦人科専門医）  
第2回「今のWリーグ選手に伝えたいこと」 三屋 裕子氏（日本バスケットボール協会 会長）  
第3回「アスリートが知っておくべきお金の話」 奥村 武博氏（公認会計士・元プロ野球選手）  
第4回「Wリーガーキャリアの活かし方」 大浦 征也氏（パーソルキャリア株式会社 doda編集長）



みんなに「W」を。

**VARIETY  
VALUES  
W LEAGUE**

最高峰の競技力と  
挑戦し続ける姿勢で  
「世界中の目標となる  
リーグ」へ

**- PHILOSOPHY**

バスケットボールを通じて多彩な力を結集させ、  
元気・感動・勇気を届け、  
笑顔あふれる社会に貢献する。

**- VISION**

する人・みる人・支える人が  
一つとなって  
「日本中に笑顔を届ける  
リーグ」へ

社会で輝く人を育み、  
人生を豊かにする  
「Well-beingな  
リーグ」へ



